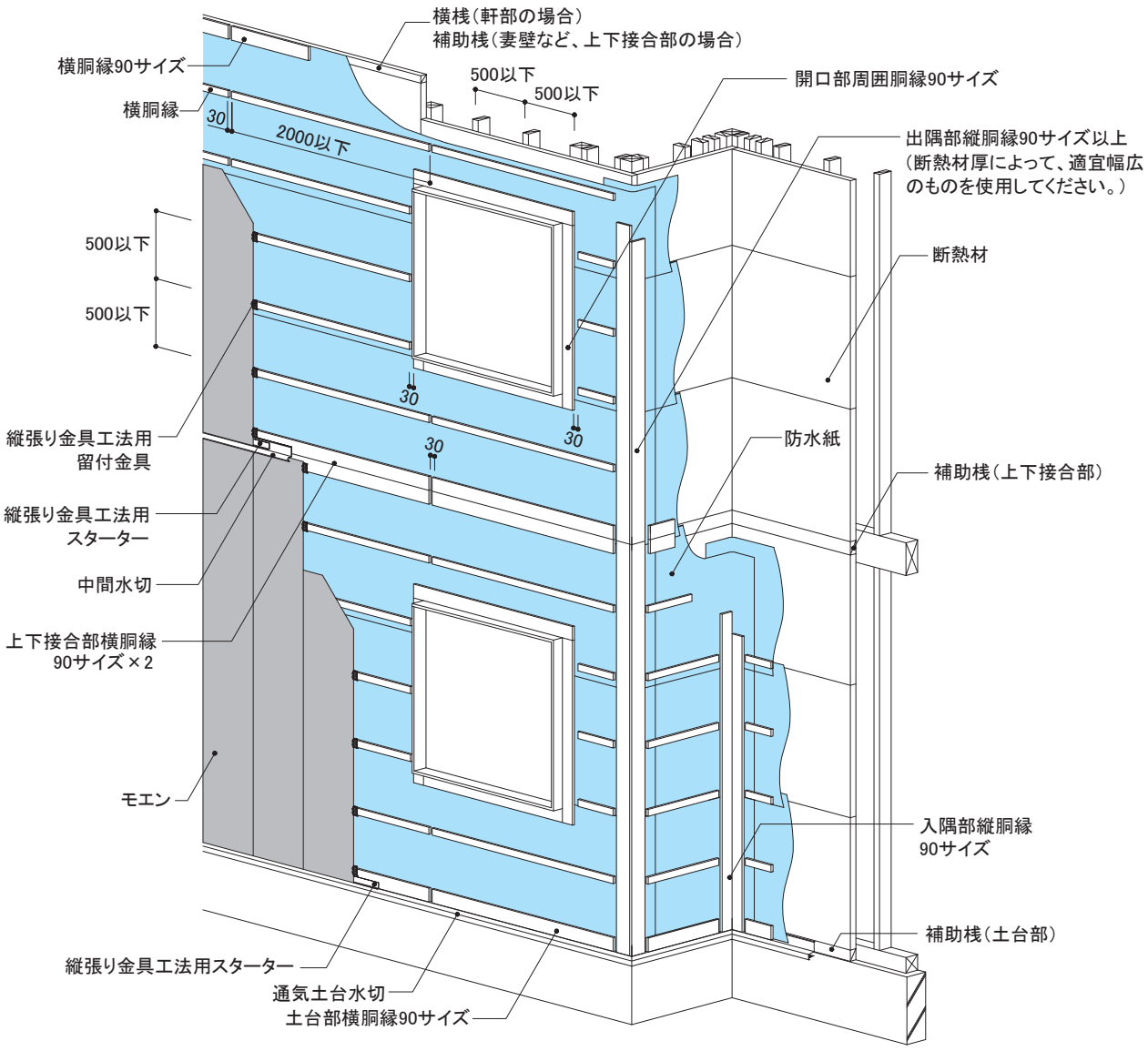
16mm厚品 EX	1.5尺×10尺（断熱材厚さ50mm）	下　地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		外張り断熱工法 木造軸組下地	金具	縦	横胴縁 @500mm以下

4－10　16mm厚品金具施工（縦張り）　1）基本構成図・下地組図

●補助桟は「モエンの下端部」（土台部、下屋根部など）・「モエンの上下接合部」（胴差部・妻壁部など）・「開口上部」に、横桟は「モエンの上端部」（軒部など）・「開口下部」に留付ビスで取り付けます。
●通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
●下地組みは図のように木胴縁を組み、スギ材の場合は厚み18mm以上、ベイツガ材の場合は厚み15mm以上の乾燥材を使用し、断熱材の厚みにあわせた留付ビスで確実に躯体および補助桟・横桟部に取り付けます。
●木胴縁の幅は45mm以上を基本とし、上下接合部、出入隅部、開口部まわりなどの指定箇所には90mm以上を使用します。また、出隅部においては、下地に確実に留め付けられるよう、断熱材の厚みにより適宜幅広の胴縁を使用します。
●横胴縁は、必ず通気ができるように2000mm以下の間隔で30mm以上の隙間を設けます。
また、開口部まわりの横胴縁は30mmの隙間を設け、通気する構造とします。

注意　90mm幅の胴縁を留め付ける場合において、胴縁の片側が大きく反ったり傾いてしまう場合は、適宜ビスを千鳥打ちまたは増し打ちをするなどして対応してください。



小口処理　モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布してください。

釘頭　釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布してください。